

CASBEE®-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版、CASBEE埼玉県2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

| 1-1 建物概要 | | 1-2 外観 | |
|----------|------------------|--------|----------------|
| 建物名称 | 28県住本庄小島団地 | 階数 | 地上5F |
| 建設地 | 埼玉県本庄市小島一丁目1569 | 構造 | RC造 |
| 用途地域 | 第一種住居地域、防火地域指定なし | 平均居住人員 | 110人 |
| 地域区分 | 5地域 | 年間使用時間 | 8,760時間/年(想定値) |
| 建物用途 | 集合住宅 | 評価の段階 | 実施設計段階評価 |
| 竣工年 | 2019年4月 予定 | 評価の実施日 | 2017年3月5日 |
| 敷地面積 | 2,245㎡ | 作成者 | 宮下光芳 |
| 建築面積 | 978㎡ | 確認日 | 2017年3月7日 |
| 延床面積 | 3,316㎡ | 確認者 | 宮下光芳 |



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.7 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO2(温暖化影響チャート)

標準計算

30%: ★★★★★ 60%: ★★★★★ 80%: ★★★★★ 100%: ★★★★★ 100%超: ★★★★★

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO2排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.5

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.1

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.2

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.1

LR のスコア = 2.9

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.4

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.5

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.8

| 3 設計上の配慮事項 | | |
|--|---|---|
| 総合 省エネルギーや耐久性を考慮して、地球温暖化防止、ヒートアイランド現象の緩和に努めている。 | | その他 0 |
| Q1 室内環境 屋外の光を積極的に室内に導入するとともに、バルコニーやカーテンにより防眩対策を行っている。化学物質の最小化及び換気量の確保を行っている。 | Q2 サービス性能 耐用年数の永い材料を使用し、長期間使用できるように配慮している。節水器具を採用し、水資源の保護に努めている。 | Q3 室外環境(敷地内) 壁面線や高さなど、周囲の建築物と調和するように配慮している。 |
| LR1 エネルギー 潜熱回収型給湯器を採用し、省エネルギー化を図っている。各住戸の採光通風を確保している。 | LR2 資源・マテリアル 節水器具や省水型機器の利用により、節水を図っている。分別が容易な施工方法の採用により、資源の大量消費の防止に努めている。 | LR3 敷地外環境 適切な量の駐車場・駐輪場を設け、周囲に渋滞や路上駐車などを発生させないよう努めている。小型燃焼機器からのNox排出を基準値以内に抑制し、大気汚染防止に努めている。 |

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO2」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO2排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される